

## 第47回淑楓祭

テーマ

# Re:

10/29(土)・30(日)

大学

## 新たに挑み続ける淑楓祭

長久手キャンパス

今

年の淑楓祭は「Re」をテーマに掲げ、第47回を迎えました。

テーマの「Re」には感謝を伝えるという想いを込め、テーマをモチーフにした装飾物がキャンパス内を彩り、学内団体のみならずが教室企画、ステージ発表で日々の成果を存分に発揮しました。

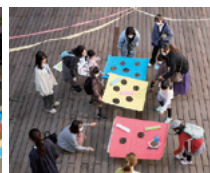
1日目のトークショーは本郷奏多さん、2日目のお笑いライブは真空ジェシカさんをゲストに迎えました。ステージでは、実行委員によるお客様と関わることのできるビンゴゲームや抽選会といった企画が催されました。また、よさこいやチャアといった学内団体の発表は、迫力満点で多くの方に元気をお届けすることができました。さらに今年には外部団体にも参加していただき、アーティストの703号室



OluOluによるフラダンス披露



書道パフォーマンス



教育学会 学遊フェスティバル



後夜祭



大学祭実行委員会企画の体験型ゲーム

によるライブやお笑い芸人の盛庵によるお笑いライブなどとても盛り上がりしました。教室企画では、P.V.S.Hによる歌唱、福祉貢献学会による障がい者スポーツ体験、げんしげんによる作品展示や撮影会などが行われ、多くの方に楽しんでいただくことができました。

淑楓祭の最後を飾る後夜祭では、全員参加できる企画を行い、お客様が楽しんでる様子を間近で見、私たちも嬉しくなりました。

今年は2日間で33362人のお客様にご来場いただき、多くの方に淑楓祭を楽しんでいただくことができました。

最後になりますが、第47回淑楓祭にご尽力いただきましたすべての方に厚く御礼申し上げます。

今

年の淑楓祭のテーマは「Re」です。「Re」には返信や再びという意味があり、コロナ禍の2年間を通じて、来場者、出場団体、業者の方々、協賛先の方々に支えられていたことを再認識できました。今年は両日対面開催に加え

天候にも恵まれ、1660人の方に会場にいられたことができました。

1日目は体育館特設ステージにて、星ヶ丘軽音楽部のライブ、金城学院大学ダンス部BEATのパフォーマンスなど、学内外の団体によるステージ企画を開催し、大変盛り上がりしました。2日目は記念会堂にて、柿原徹也さんとKENNさんによるトークショーを行いました。トークショーには392人のお客様にお越しいただき、

楽しんでいただきました。

子ども広場の縁日、教室企画、バスrom作りなどの毎年恒例の企画に加え、コロナ禍以降初のテイクアウト模擬店を開催しました。コミュニティ・コラボレーションセンターの学生団体や外部の団体に協力いただき、シュークリームやスイートポテトなど模擬店終了時間前に完売してしまうほどの人気ぶりでした。

お客様に来年もまた来たいという言葉をいただき、実行委員としても嬉しく思います。来年以降も、たくさんの方々に愛され、常に発展し続けられる淑楓祭を目指していきます。ご協力いただいた関係者の皆様、お越しいただいたお客様へ実行委員一同心より御礼申し上げます。



ステージ企画 よさこい研究会「鳴踊」の演舞



子ども縁日(わなげ)



フォトスポット



階段装飾



テイクアウト模擬店

両キャンパスの大学祭実行委員長によるレポートです。

## ● 沖縄研修旅行

11/3(木)～6(日)

中学校



平和記念公園

**中** 学3年では、3年ぶりに研修旅行を実施することができました。過去2年間、沖縄への研修旅行、代替案の研修旅行を断念せざるを得ない苦渋の決断をしてきたので、今年、研修旅行ができて本当に良かったです。しかし、この2年間の間で新しくなった生活様式に伴い、3年前と同じではない部分も多々ありました。マスクでガイドさんの声が聞こえにくい部分があったり、バス車内で沖縄の歌を皆で唄うことができなかったり、全員でエイサーやカチャーシーを踊れなかったりなど、生徒に聞かせてあげたいこと、見せてあげたいこと、体験させてあげたいことを全部は実現できませんでした。それでも多くの生徒はとても前向きで、まるでどんな制限も苦ではないかのように友達との会話や沖縄の美しい景色、沖縄の料理などを思う存分に楽しんだのではないのでしょうか。今回の研修旅行を参考に、来年度以降の研

修旅行をよりよいものにしていければと考えています。

沖縄を訪れる意義としては、沖縄独自の自然・風土・歴史・文化を体感することです。昨今、情報機器が進化し、オンラインやリモートなどの便利な機能が溢れています。しかし、沖縄を知るという観点では、実際に目で見て、肌で感じた方が勉強になると考えています。そして、「戦争」と「基地問題」を考えることを最大の目的にしています。戦跡を巡り、過去から現在に至る「戦争と平和」について、感受性豊かなこの時期に考え、主権者的な考えをもってもらいたいと思います。



嘉数高台公園



ひめゆりの塔



沖縄県立博物館



シーカヤック



美らSUNビーチ

高等学校

## ● 九州研修旅行

10/24(月)～28(金)

10

月24日～28日、高2は九州北部研修旅行に出かけました。

感染症予防のため、制約は多いものの、計画通り無事行つことができたことに安堵しています。

1日目、新幹線で博多に入り、吉野ヶ里遺跡に向かいました。大きく広がる空のもと、悠々の昔の人々の営みに思いを馳せ、一気に旅の気分が高まりました。

2日目はまず熊本城を訪れました。城は2016年の熊本地震で大きく崩壊・破損しましたが、現在では全面リノヴァルされた天守閣からの眺めが楽しめます。昼食後フェリーで島原半島に渡り、雲仙普賢岳災害記念館へ。大火砕流の被害を目の当たりにし、平成新山となった溶岩ドームを見上げました。自然の凄まじさと復興に挑む人々の逞しさに触れ、一方で、雲仙新湯温泉で温泉に浸かって自然の恵みや豊かさを実感する一日となりました。

3日目は長崎市内で「平和と戦争」に集中する日です。平和公園浦上地区や原爆資料館を見学し、被爆者の方からの講話を聞いたのち、愛知淑徳研修旅行が何十年と続けてきた慰霊祭に臨みました。学年全員で折りあげた千羽鶴を捧げ、平和と戦争と自分の心に向き合う静かな時間を過ごしました。

4日目は一日、長崎市内班別自由研修。異国情緒溢れる長崎の街を満喫し、夕刻、夜景の美しい長崎から博多へ移動しました。

5日目は最後の見学地、太宰府天満宮です。来年はいよいよ受験生になります。菅原道真のお力を借りたいと境内で合格弁当と名物梅が枝餅をいただき、思い出さばい帰路につきました。

コロナ禍のため中学の研修旅行は中止にせざるを得なかった学年ですが、今回の宿泊研修を意識高く過ごし、学年全体が自信と誇りをもって終えることができました。



熊本城



被爆体験講話



吉野ヶ里遺跡



浦上天主堂



爆心地公園 慰霊祭